

平成18年度

# 事業の記録

2006



財団法人 鹿児島県国際交流協会

KAGOSHIMA INTERNATIONAL ASSOCIATION

# 目 次

第1	国際理解の増進	
1	情報収集提供機能の拡充	1
2	広報出版活動の充実	2
3	国際理解の推進	3
第2	国際交流活動の展開	
1	外国人の受入れ拡大	6
2	在住外国人との交流促進	7
3	国際交流組織の連携・支援の強化	8
4	国際交流ボランティア制度の拡充	10
第3	国際協力の推進	
1	在住外国人への支援	12
2	国際協力機関等との連携	14
第4	協会体制の確立	
1	管理運営の充実	15
2	組織機構の拡充強化	15
3	財源基盤の確立	15

# 第 1 国際理解の増進

## 1 情報収集提供機能の拡充

### (1) インターネットによる情報収集提供機能の充実

インターネットによる情報の収集・提供（平10年度開始）

インターネットによる情報収集やホームページの定期的更新を行った。

年 度	内 容
平成16年度	日本語・英語のホームページの各種情報を随時更新するなど充実を図るとともに、Eメールを活用した情報提供を行った。
17年度	日本語・英語のホームページの各種情報を随時更新するなど充実を図るとともに、Eメールを活用した情報提供を行った。
18年度	日本語・英語のホームページの各種情報の随時更新や情報公開資料の掲載など、内容の拡充を図るとともに、Eメールを活用した情報提供を行った。さらに、中国語、韓国語によるホームページ立ち上げに向け掲載内容の選定・翻訳作業を行った。

### (2) 国際交流プラザのサービス機能の充実

#### ア インターネットの開放

来訪者向けの情報提供用インターネット用パソコンの利用促進を図った。

#### イ ライブラリーの整備

##### (7) 図書類の整備・利用促進（平成2年度開始）

海外渡航や生活情報、留学情報、アジア・太平洋諸国の最新事情及び交流の基礎となる鹿児島県の理解に役立つ図書類の収集・充実を図った。

また、海外新聞や海外雑誌等を定期的に購入し、閲覧に供した。

##### ● 図書類

平成16年度末	平成17年度末	平成18年度末
3, 470冊	2, 070冊	2, 311冊

【図書分野】辞書・辞典、語学、外国事情、留学関係、国際理解、日本文化、日本理解等

##### ● 定期購読新聞・雑誌

年 度	内 容
平成18年度	外国新聞〔6紙〕 Guardian Weekly, 人民日報, Sunday Times, 東亜日報, The Japan Times, USA TODAY 外国雑誌〔8誌〕 週刊韓国, 人民中国, 読者, TIME, English Zone, 中国語ジャーナル, ひらがなタイムズ, 月刊日本語

##### (i) ビデオテープの閲覧・変換サービス

###### a ビデオテープの閲覧（平成2年度開始）

ビデオテープの閲覧のサービスを実施した。

【ビデオ分野】海外情報、日本紹介、鹿児島県紹介、国際交流、国際協力等

###### b ホームビデオの変換サービス（平成6年度開始）

世界各国のビデオに対応するよう録画方式を変換するサービスを実施した。

平成16年度	平成17年度	平成18年度
23件	14件	3件

- (ウ) 外国テレビ放映サービスの実施（BS放送：平成2年度，CS放送：平成15年度開始）  
外国テレビ放送（英語・韓国語・中国語放送）の放映サービスを行った。

## 2 広報出版活動の充実

### (1) 情報誌の発行

県民向け、在住外国人向け又は海外向けの情報誌を発行した。

誌名	暖流	South Wing	マンナム	南風窓	国際交流ひろば
言語	日本語	英語	ハングル	中国語	日本語
発行開始年度	平成5年度	平成元年度	平成7年度	平成10年度	平成12年度
平成16年度	4回各2,000部	4回各800部	1回1,000部	1回1,000部	12回各800部
17年度	2回各2,000部	2回各800部	1回1,000部	1回1,000部	12回各800部
18年度	2回各2,000部	2回各800部	1回1,000部	1回1,000部	12回各800部
平成18年度の主な記事	国際体験in鹿児島、インターナショナルキャンプ、JICA青年招へい事業、鹿児島県青少年国際協力体験事業、青年海外協力隊帰国隊員の報告、鹿児島県国際交流員紹介、国際子供フェスティバル、日本語スピーチコンテスト、CIR文化講座、在住外国人文化紹介講座、JICA情報、アジアかこしまクラブ紹介、CIR情報	鹿児島の温泉、インターナショナルキャンプ、日本文化体験事業、鹿児島県青少年国際協力体験事業、青年海外協力隊帰国隊員の報告、鹿児島県国際交流員紹介、医療・福祉制度紹介、国際子供フェスティバル、第12回在住外国人による日本語スピーチコンテスト、日本文化体験事業、留学生と協力隊OBが先生事業、鹿児島県国際交流員のメッセージ	全羅北道社会福祉協議会との交流事業、蒲生町と韓国民間交流20周年、KOREA ICHEON交流事業「わんぱくチャレンジ2006」、第12回外国人による日本語スピーチコンテスト、韓国文化講座、鹿児島県在住韓国人おススメの鹿児島観光スポット、鹿児島県内国際交流員紹介	江蘇-日本民間友好交流ウィーク、中国留学生といちぎ串木野市の小学生の交流、第15回鹿児島・香港交流会議、かごしまアジア青少年芸術祭、中国東方航空鹿児島支店長のメッセージ、中国語で観光案内（鹿児島空港ビルディングの新サービス）、薩摩川内市の公立中学校が中国に修学旅行（鹿児島県初）、鹿児島県内国際交流員紹介、多文化共生特集	県内国際交流・国際協力のイベント情報等
配布先	県民向け 神村、民間交流団体等、地域国際化協会、県庁教	在住外国人向け 神村外国人窓口、県内大学、民間交流団体等	韓国向け 全羅北道、神村、民間交流団体等、地域国際化協会、県内大学、韓国大使館等	中国向け 江蘇省、JETRO上海事務所、中国大使館、地域国際化協会、県内大学等	県民向け 県内学校、県庁、公共施設等

### (2) 刊行物の発行等

#### ア 刊行物の発行（平成元年度開始）

国際交流・協力に関する刊行物を発行し、地域の国際化に資した。

平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成15年度事業の記録</li> <li>平成15年度事業報告書（アジア・太平洋農村研修センター）「あゆみ」</li> </ul>
17年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成16年度事業の記録</li> <li>平成16年度事業報告書（アジア・太平洋農村研修センター）「あゆみ」</li> </ul>
18年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年度事業の記録</li> <li>平成17年度事業報告書（アジア・太平洋農村研修センター）「あゆみ」</li> <li>鹿児島県の国際交流・協力団体ダイレクトリー</li> <li>留学生のための生活ガイドブック</li> </ul>

#### イ 国際交流プラザ活用の促進

国際交流プラザを在住外国人の方に周知するため、日本語によるリーフレットのほか、外国語（英語）のリーフレットを配布した。

(3) 生活ガイドブックの販売（平成14年度開始）

在住外国人の生活を支援するため、外国語（英語・韓国語・中国語）の鹿児島生活ガイドブックの販売を行った。

【主な内容】法律上の手続き、医療・福祉、交通機関、緊急、災害等インフォメーション

3 国際理解の推進

(1) 外国語・文化講座等の開催

ア 韓国語・文化講座の開催（平成2年度開始）

平成元年10月の「日本国鹿児島県と大韓民国全羅北道との友好協力の推進に関する宣言」に基づく交流の促進に資するため、「韓国語・文化講座」を開催した。

年 度	開催曜日	開催時間	受講者	講 師	会 場
平成16年度	水曜日	18:30~20:00	28名	成 賢貞 氏	国際交流プラザ
17年度	水曜日	18:30~20:00	19名	成 賢貞 氏	
18年度	水曜日	18:30~20:00	14名	田 孝ア 氏	

イ 中国語・文化講座の開催（平成18年度開始）

中国の文化に言葉の学習を通して触れ、鹿児島と中国の交流をさらに深めることができるよう、「中国語・文化講座」を開催した。

年 度	開催曜日	開催時間	受講者	講 師	会 場
平成18年度	土曜日	14:00~15:30	12名	趙 国興 氏	国際交流プラザ

ウ 県国際交流員等による文化講座等の開催

(7) CIR文化紹介講座（平成15年度開始）

県国際交流員の出身国の文化紹介や体験を通して、国際理解を促進した。

年 度	実施回数	参加者総数	内 容	講 師	会 場
平成16年度	16回	319名	各国料理講座、講演会、ストラップ作り、韓国の歌アリアン、クリスマス他	県国際交流員 (アイルランド、シンガポール、韓国、中国)	かごしま県民交流センター・国際交流プラザ
17年度	13回	491名	各国料理講座、映画上映、各国文化紹介、アイルランドのクリスマス、韓紙工芸、国際交流チャリティーイベント「虹の橋」他	県国際交流員 (アイルランド、シンガポール、韓国、中国)	
18年度	8回	181名	各国料理講座、語学講座、中国の書道、韓国の伝統的遊び、国紹介他	県国際交流員 (アイルランド、シンガポール、カナダ、韓国、中国)	

(4) 在住外国人文化紹介講座（平成18年度開始）

在住外国人（留学生を含む）による外国の文化紹介講座を開催し、お互いの多種多様な国の文化を知り国際理解を図った。

開催期日	内 容	講 師	受講者
平成18年 9月24日	ベトナム文化紹介講座 ～ベトナムの正月～	鹿児島大学留学生 (ベトナム出身)	21名
平成19年 2月11日	タンザニア文化紹介講座 ～Tanzania Land of Kilimanjaro～	鹿児島大学留学生 (タンザニア出身)	15名
平成19年 3月21日	新疆ウイグル自治区文化紹介講座 ～シルクロードの国を訪ねて～	鹿児島国際大学 非常勤講師 アブリタイー ローシガリ氏	32名

(ウ) 国際交流・協力団体国際理解講座（平成18年度開始）

鹿児島で活動している国際協力・交流団体の活動紹介をはじめ、各団体による国際理解講座を通して県民の国際理解を深めた。

開催期日	内 容	講 師	受講者
平成19年 3月17日	地球上の生き物として	NPO法人くすの木自然館 理事長 立山芳輝氏	21名

エ ランチタイム・イングリッシュ・クラブ（平成4年度開始）

英語による外国文化の紹介や自由な意見交換を行うため、県国際交流員による「ランチタイム・イングリッシュ・クラブ」を開催した。

年 度	開催曜日	開催時間	講 師（鹿児島県国際交流員）	会 場
平成16年度	金曜日	12:00~13:00	フィリップ・クイン（アイルランド）	国際交流プラザ
17年度	金曜日	12:00~13:00	フィリップ・クイン（アイルランド）	
18年度	金曜日	12:00~13:00	フィリップ・クイン（アイルランド） ダニエル・マッキ（カナダ） ツア・シンジュアン（シンガポール）	

(2) インターナショナルキャンプの開催（平成17年度開始）

県民の国際理解の増進を図り、在住外国人との共生を推進するため、外国人と交流する機会の少ない農山村地域や離島の人々と、県民と交流する機会の少ない留学生をはじめとする県内在住外国人との相互交流を、小・中学校や地域おこしグループ等の地域団体、行政機関と連携を図りながら進めるとともに、在住外国人に日本の農山村や離島での生活をホームステイを通して体験してもらい、日本文化の理解と地域の方々との交流を深めてもらった。

年 度	実施日	実施場所	参加外国人	参加児童・生徒
平成17年度 (ｸﾗﾌ 補助事業)	平成17年 7月14日～16日	徳之島町	5名(うち、CIR 1名)	76名
	平成17年10月10日～12日	瀬戸内町	5名(うち、CIR 1名)	21名
	平成18年 2月20日～22日	肝付町	5名(うち、CIR 1名)	210名
18年度	平成18年 8月20日～22日	喜界町	7名(うち、CIR 2名)	489名
	平成19年1月30日～2月1日	知覧町	6名(うち、CIR 2名)	194名

### (3) 国際理解プログラム事業の実施

#### ア 「留学生と協力隊OBが先生～見える・学べる・世界の国々～」事業の実施

(平成7年度開始)

青年海外協力隊や国際協力、発展途上国等に対する理解を深めるため、留学生や青年海外協力隊のOB・OG等を小・中学校に派遣する事業を、鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会とで組織する実行委員会で実施した。

年 度		平成16年度	平成17年度	平成18年度
派遣学校		51校	46校	42校
参加者数		2,602名	2,707名	2,689名
講師	留学生	17名	13名	16名
	協力隊OB・OG	51名	46名	42名

\*後援：鹿児島県，鹿児島大学，鹿児島県教育委員会，JICA九州国際センター

#### イ 「国際体験 in 鹿児島」事業の実施（平成17年度開始）

小学生を対象に、外国人家族との交流の中でその国の習慣や文化を学び、異文化の理解と国際交流への芽を育むため、県内在住外国人の家庭でのホームステイを実施した。

年 度	実 施 日	参加ホストファミリー	参加ホストファミリー出身国	参加児童
平成17年度	平成17年 7月30日～31日	鹿児島大学留学生7家族	パキスタン，ヨルダン，ベトナム，マカオ	7名
	平成18年 1月28日～29日	鹿児島大学留学生4家族	パキスタン，ヨルダン，パプアニューギニア， Bangladesh	4名
18年度	平成18年 7月29日～30日	鹿児島大学留学生4家族	タンザニア， Bangladesh， フィリピン	4名

#### (4) 子供国際理解講座の開催（平成18年度開始）

多種多様な分野における日本と外国のつながりを学ぶことを通して、子供たちの国際理解へとつなげるため、独立行政法人国際協力機構と社団法人鹿児島青年会議所との三者の共催で、小学生を対象とした国際理解講座を開催した。

開催期日	内 容	受講者
平成18年11月 5日	自動車（小学校1～3年生対象）	16名
平成18年11月26日	食べ物（小学校4～6年生対象）	14名

#### (5) 国際理解教材の整備・貸出し

国際理解，国際交流，国際協力等に資する地域の国際化を目的とした事業等の実施者に対して，民族衣装や国旗，地図等の貸出しを行うとともに，その整備・充実を図った。

年 度	国 旗	地 図	民族衣装
平成16年度	33回	1回	25回
17年度	27回	1回	13回
18年度	26回	1回	16回

## 第 2 国際交流活動の展開

### 1 外国人の受入れ拡大

#### (1) 広域的受入事業

ア JICA「青年招へい事業」の受託（昭和60年度開始）

諸外国との交流を深め、日本と諸外国との相互理解を促進するため、独立行政法人国際協力機構の「青年招へい事業」によるアフリカ青年の受入れを行い、ホームステイ、公共施設の見学、日本文化体験等の地方分野別プログラムを実施した。

年 度	受入青年	分野	受入数	受入期間
平成16年度	モルディブ	教員	10名	平成17年 2月 1日 ～ 2月 8日
17年度	(休止)	—	—	—
18年度	アフリカ（混成）	教員	23名	平成18年 9月 4日 ～ 9月12日

【平成18年度事業の内容】

9月 4日（月）鹿児島着 プログラム説明，地方オリエンテーション

9月 5日（火）県教育長表敬訪問・講義「鹿児島県の教育の概要並びに中学校理科教育の現状と課題について」，日本文化体験（着物，抹茶体験／仙巖園）

9月 6日（水）学校法人池田学園訪問

9月 7日（木）歴史資料センター黎明館訪問，生命と環境の学習館（自然科学ワークショップ）

9月 8日（金）鹿児島市立伊敷中学校訪問，ホストファミリー対面式

9月 9日（土）ホームステイ

9月10日（日）ホームステイ，ホストファミリーと歓送会

9月11日（月）自主研修

9月12日（火）鹿児島発

#### (2) 海外派遣交流の推進

ア 青少年国際協力体験事業の実施（平成2年度開始）

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会と連携し、県内の中・高校生等にアジアにおける国際協力の現場を体験させる事業を市町村や企業・団体の協力を得ながら実施した。

年 度	対象地域	団員数	主な派遣先	派遣期間	同行者数
平成16年度 (第13回)	鹿児島市，枕崎市， 国分市， 実行委員会枠	9名	マレーシア トレンガヌ州 チャブ村	7月19日(月)～26日(月) (8日間)	4名
17年度 (第14回)	鹿児島市，枕崎市， 国分市，串木野市， 知覧町， 実行委員会枠	14名	ベトナム 社会主義共和国 ホアビン省 モーハイ村	7月24日(日)～31日(日) (8日間)	6名
18年度 (第15回)	鹿児島市，枕崎市， 霧島市，知覧町， 実行委員会枠	12名	マレーシア ボルネオ島サバ州 シニシアン村	7月22日(土)～29日(土) (8日間)	6名

イ 海外留学の支援

(ア) 留学関係情報の提供（平成2年度開始）

世界主要国の留学制度，海外生活，海外事情等に関する書籍を整備し，情報を提供した。



(イ) 留学相談（平成2年度開始）

国際交流プラザにおいて、海外の大学等への留学を希望する本人や家族からの留学先、留学手続き・方法等の留学相談にカウンセラー等が応じた。

年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
相談件数	58件	64件	58件

(ロ) ワーキング・ホリデー促進への協力（平成11年度開始）

- a ワーキング・ホリデーに関する書籍の整備や掲示板で最新情報の掲示を行った。  
b ワーキング・ホリデー相談への対応

ワーキング・ホリデーを希望する本人や家族からの旅行先、手続き・方法等について、相談に応じた。

年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
相談件数	21件	15件	43件

## 2 在住外国人との交流促進

(1) 国際交流活動の促進

市町村・団体等への支援（平成2年度開始）

市町村・企業・団体等が在住外国人との交流活動を行う場合、その企画立案等の相談に応じるとともに、共催や後援の形で必要な協力をを行った。

年 度	共催件数	後援件数
平成16年度	7件	20件
17年度	3件	22件
18年度	3件	16件

(2) 「国際子供フェスティバル」事業の開催（平成15年度開始）

子供たちが積極的に参加できる体験型のプログラムを通して、世界の国々や異文化の存在を肌で感じ、国際交流・国際理解への第一歩となることを目的に、クレアの補助事業として実施した。

また、実施に当たっては、NGOとの連携及び在住外国人との共生の促進を図るため、NGOや県内在住外国人にブースの出店などの協力をもらい、県民との相互理解・交流を深めた。

開催期日	内 容	参加者	開催場所
平成18年11月5日 (日)	・音楽と映像のひろば (リトルチェリーズによる演奏、映画の上映) ・世界を感じる手作り体験と遊びのひろば (手作り体験、世界各国の民族衣装体験他) ・食事・遊び・文化のひろば (世界各国の料理他)	6,207名	かごしま 県民交流 センター 各会場

(3) 日本文化体験事業（平成16年度開始）

県内に在住している外国人に、日本文化体験の機会を提供し、日本についての理解を深めてもらった。

開催期日	内 容	参加外国人
平成18年 5月28日	隼人塚・鹿児島神宮・黒酢工場見学	25名
平成18年11月18日	風呂敷を利用したラッピング体験	6名
平成18年12月 3日	正月についての紹介と雑煮づくり	17名
平成19年 2月18日	和風づくり, 風揚げと藤川天神探訪	32名

(4) 外国人による日本語スピーチコンテストの開催（平成18年度開始）

各種交流団体と連携して県内在住外国人によるスピーチコンテストを開催し、県民との相互理解、国際交流を促進した。

	開催日	出場者	出場者出身国・地域
予選	平成19年 1月13日（土）	18名	中国, 韓国, イギリス, インドネシア, ベトナム, パキスタン, バングラデシュ, ブラジル, 台湾, インド
本選	平成19年 1月20日（土）	10名	中国, 韓国, インドネシア, ベトナム, パキスタン, インド

(5) 生活相談等

在住外国人の生活を支援するため、関係機関・団体等と連携しながら、生活相談・法律相談等を行うとともに生活ガイドブックの拡販に努めた。

(6) 国際交流プラザでの交流促進

来訪者同士の自由な交流（平成2年度開始）

国際交流プラザを訪れる外国人と県民とが気軽に談笑したり、情報や意見交換を行うなどの自由な交流を楽しむ場を提供した。

また、伝言板を設置して、イベント・不要品交換などの情報交換の場を提供した。

### 3 国際交流組織の連携・支援の強化

(1) 民間団体の国際交流・協力活動への助成（平成2年度開始）

県内の民間団体が行う海外との文化・スポーツ・学術等の国際交流活動、県民の国際理解の推進を目的とする活動、地域レベルの国際交流・協力の推進を目的とする活動等に対し助成金を交付した。

団体名	活動目的・内容	助成額 (千円)
日本一大楠どんと秋まつり実行委員会	<p>「日本一大楠どんと秋まつり」</p> <p>蒲生八幡神社の境内にある蒲生の大楠は、昭和63年に環境庁が実施した巨樹・巨木林調査で、日本一の巨樹として認定されました。</p> <p>この日本一の大楠のある蒲生八幡神社とその周辺は、歴史と自然の織りなす絶好の環境にあります。</p> <p>1 この絶好のロケーションの中で国内外の音楽・芸術活動グループに参加協力を求めて、国際的視野を広めるとともに、日頃簡単に体験できない音楽・芸術を蒲生ならではの演出により来場者の「心」に届ける。</p> <p>2 韓国の出演団体（ソウル国楽芸術高等学校）については、町内にホームステイをしていただくことにより、本町の国際交流活動の推進と発展を目指す。</p> <p>3 秋の収穫祭として蒲生でとれた新鮮な農林水産物提供し、五穀豊穡を祝う。</p> <p>4 まつりを通して、蒲生町の農林業と芸術のPRはもちろん、まちづくりや人づくり、国際交流などさまざまな分野で知恵と努力をしようという機運を高める。</p> <p>5 まつり会場でのゴミを町内女性団体の協力のもと、分別・リサイクルすることで環境問題への啓発に努める。</p> <p>6 上記の活動・交流を民間レベルで積極的に推進し、蒲生町を「自然」「農」「文化」の発信基地として位置づけられるよう町民一体となった活動を行う。</p>	450

11月17日	ソウル国楽芸術高等学校生来蒲 学校交流会（蒲生小学校他町内小学校5校） 対面式 家庭交流（ホームステイ）
11月18日	蒲生郷太鼓坊主結成20周年&韓国⇄蒲生交流15周年記念事業 韓国桜記念植樹 家庭交流（ホームステイ） 前夜祭（韓国の伝統芸能、蒲生郷太鼓坊主）
11月19日	日本一大楠どんと秋まつり本祭 「鎮守の森芸術祭」（韓国の伝統芸能、奄美の島唄、蒲生郷太鼓坊主他） 「みのりの広場」（牛肉販売会、韓国の伝統芸能、 みんなで踊ろう！～日韓友情の“和”～他） 家庭交流（ホームステイ）
11月20日	送別式
11月21日	ソウル国楽芸術高等学校生帰国

(2) 市町国際交流協会及び国際交流団体とのネットワークの推進（平成11年度開始）

ア 共通の課題や問題を抱える市町国際交流協会や県内国際交流団体との意見交換会を開催し、問題解決のための方策の検討を行うとともに、ネットワークづくりを推進した。

年度	開催日	参加団体	備考
平成16年度	平成16年12月8日(水)	8団体	市町国際交流協会
	平成16年12月11日(土)	8団体	県内国際交流団体等
17年度	平成18年2月25日(土)	24団体	市町国際交流協会 県内国際交流団体等
18年度	平成18年12月24日(日)	25団体	市町国際交流協会 県内国際交流団体等

イ 国際交流団体等のネットワークの一助とするため、「鹿児島県の国際交流・協力団体ダイレクトリー」を作成した。

発行部数：500部

(3) 全国組織等との連携

ア 全国組織等との連携

地域国際化協会連絡協議会をはじめ、財団法人自治体国際化協会など当協会と関係の深い全国組織等との連携を密にし、事務・事業の円滑な推進を図った。

年度	内容	開催日	開催場所
平成16年度	地域国際化協会連絡協議会総会	平成16年5月31日	東京都
17年度	地域国際化協会連絡協議会総会	平成17年5月24日	東京都
18年度	地域国際化協会連絡協議会総会	平成18年5月30日	東京都

イ 九州地区の協会間の連携

九州・沖縄地区の地域国際化協会で組織する連絡協議会の総会及び実務者研究会に参加し、相互の情報交換や連携の強化を図った。

年度	内 容	開 催 日	開催場所
平成16年度	九州地区地域国際化協会連絡協議会 総会	平成16年7月15日～16日	鹿児島県
	九州地区地域国際化協会連絡協議会 実務者研究会	平成17年1月27日～28日	沖縄県
17年度	九州地区地域国際化協会連絡協議会 総会	平成17年7月14日～15日	佐賀県
	九州地区地域国際化協会連絡協議会 実務者研究会	平成18年2月17日	福岡県
18年度	九州地区地域国際化協会連絡協議会 総会	平成18年7月27日～28日	北九州市
	九州地区地域国際化協会連絡協議会 実務者研究会	平成19年2月 8日	大分県

4 国際交流ボランティア制度の拡充

(1) ボランティア活動の拡充・促進（平成2年度開始）

各種ボランティア登録者の拡大を図るとともに、登録者の充実した活動ができるよう支援した。

また、協会の各種事業において、ボランティアの活動の機会を提供するとともに、広報等に努めた。

ア 登録者の状況（年度末現在）

年 度	ホストファミリーボランティア	語学ボランティア
平成16年度	80家庭	61名
17年度	95家庭	65名
18年度	81家庭	73名

イ 活動の状況

平成16年度	平成17年度	平成18年度
22件	32件	19件

ウ 活動実績（平成18年度）

(7) ホストファミリーボランティア

名 称	期 日	家庭数	内 容
鹿児島県青少年男女共同参画課 青少年香港・シンガポール交流事業	平成18年 8月25日 ～ 8月27日	県青少年男女共同 参画課が直接対応	香港青少年 15名
財団法人鹿児島県国際交流協会 JICA青年招へい事業	平成18年 9月 8日 ～ 9月10日	22家庭	アフリカ青年 23名
鹿児島県国際交流課 シンガポール日本語スピーチコンテスト上位 入賞者ホームステイ受入	平成18年12月 8日 ～12月12日	県国際交流課が直 接対応	シンガポール人 2名
(個人) 長期ホームステイ	平成18年12月29日 ～平成19年7月24日	1家庭	アメリカ人 1名
鹿児島県義務教育課 ACCU国際教育交流事業	平成19年 1月28日	県義務教育課が直 接対応	韓国教職員 32名

(1) 語学ボランティア

名 称	期 日	活動人数	内 容
三島町役場 ジャンベアンサンプル事業	平成18年 7月 7日	1名	通訳 (フランス語)
鹿児島商工会議所 観光客への観光案内	平成18年 8月20日	1名	観光案内通訳 (中国語)
財団法人鹿児島県国際交流協会 JICA青年招へい事業	平成18年 9月11日	3名	観光案内通訳 (英語)
(個人) 手紙の翻訳	平成18年10月13日 ～	1名	手紙の翻訳 (英語)
(個人) 外国製音響機器説明書の翻訳	平成18年11月 1日 ～	1名	説明書の翻訳 (英語)
鹿児島県社会福祉協議会 韓国全羅北道社会福祉施設従事者 受入研修	平成18年11月 6日 ～11月 9日	2名	通訳 (韓国語)
大口市役所 公的書類の翻訳	平成18年11月19日 ～	1名	書類の翻訳 (ポルトガル語)
(児童絵本作家) 図書の翻訳	平成18年11月21日 ～	1名	図書の翻訳 (英語)
(個人) 年賀状の翻訳	平成18年11月23日	1名	年賀状の翻訳 (中国語)
全羅北道・かごしま 建設文化と技術の交流推進協議会 懇談会等の通訳	平成18年11月29日 ～11月30日	2名	通訳 (韓国語)
全国市道議会議長協議会 案内・通訳等	平成19年 2月 4日	1名	通訳 (韓国語)
社団法人鹿児島青年会議所 韓国利川青年会議所公式訪問	平成19年 2月23日 ～ 2月25日	2名	通訳 (韓国語)
あいらふるさとネットワーク 「始良ジャンボ鬼火焚き」の ギネスブック申請	平成19年 2月28日 ～	1名	翻訳 (英語)
(児童絵本作家) 図書の翻訳	平成19年 3月 9日 ～	1名	図書の翻訳 (英語)

(2) 国際交流ボランティア交流会の開催（平成18年度開始）

ボランティア同士と在住外国人の各言語での情報交換を行い、それを共有することで今後のボランティア活動の参考とし、ボランティア活動の促進につなげるとともに、日本文化体験事業と併せて実施し、在住外国人との交流を深めた。

開 催 日	参加者
平成19年 2月18日（日）	11名

## 第 3 国際協力の推進

### 1 在住外国人への支援

#### (1) 留学生への支援

##### ア 研究活動費の助成（平成3年度開始）

一定の条件を満たす留学生の学会等への出席などの研究活動を支援するため、旅費等の研究活動費の助成を行った。

年 度	対象者	助 成 金
平成16年度	8名	200千円
17年度	8名	200千円
18年度	1名	30千円

##### イ 留学生の交流活動への支援（平成5年度開始）

留学生会等が主催する国際交流・理解事業等に要する経費の助成を行った。

なお、東文子氏からの寄付金を有効活用するため、別途、東文子・外国人留生活動等支援事業会計を立ち上げ、留学生の交流活動等への支援を行い、国際交流・理解をさらに促進した。

##### (7) 外国人留学生交流活動事業助成金

年 度	件 数	金 額
平成16年度	3件	212千円
17年度	6件	206千円
18年度	1件	100千円

##### (4) 留学生会等への支援

年 度	件 数	金 額
平成17年度	10件	293千円
18年度	9件	59千円

##### (ウ) 東文子・外国人留生活動等支援事業

年 度	件 数	金 額
平成18年度	4件	975千円

##### ウ 留学生支援資金貸付制度の運営（平成10年度開始）

留学生が、生活費、住宅費、医療費、学費等で一時的・臨時的に多額の出費を必要とする場合に、無利息で資金の貸付を行った。

年 度	貸付件数	貸付額
平成16年度	14件	1,400千円
17年度	4件	400千円
18年度	4件	400千円

##### エ 留学生住宅確保支援事業（平成13年度開始）

留学生が住居を賃借する際に、当協会が賃貸契約の連帯保証人として機関保証することにより、留学生の円滑な住宅確保を図った。

年 度	実 績
平成16年度	21件
17年度	23件
18年度	14件

オ 各大学等留学生担当者意見交換会の開催（平成18年度開始）

留学生に関する情報交換や支援のあり方等について、各大学等留学生担当者との意見交換会を実施し、連携を深めた。

開 催 日	参加者	開催場所
平成18年 4月28日	14名	かごしま県民交流センター

カ 留学生のための生活ガイドブックの発行

日本語や日本の生活習慣等に不慣れな新入学の留学生が、戸惑うことなく安心して鹿児島での生活を送ることができるよう、「留学生のための生活ガイドブック」を作成した。

発行部数：600部

(2) 在住外国人の支援

ア 多文化共生研究会の設置

本県在住外国人が、地域住民として共に生きていくことができる住みやすい地域づくりを進めることを目的に、多文化共生研究会を設置した。

イ 在住外国人日本語教室（平成16年度開始）

県内に在住している外国人を対象に、日本語の研修を行い、生活の充実とコミュニケーションの円滑化を図った。また、在住外国人と日本人が継続的に交流できるよう、日本語教室の時間を利用して「多文化サークル」を毎月1回実施し、仲間づくりの場を提供した。

年 度	講座回数	受講者数	会 場
平成16年度	12回（9月～3月隔週土曜日）	13名	国際交流プラザ
17年度	12回（10月～3月隔週土曜日）	17名	
18年度（初心者） （初 級）	30回（5月～12月毎週土曜日）	延べ 106名	
	30回（5月～12月毎週火曜日）	延べ 155名	

ウ 生活相談等（再掲）

在住外国人の生活を支援するため、関係機関・団体等と連携しながら、生活相談・法律相談等を行うとともに、生活ガイドブックの拡販に努めた。

(3) 相談・支援体制の充実

ア カウンセラー設置（平成2年度開始）

非常勤の国際交流カウンセラーを中心に、外国人等の生活相談、国際交流に係る相談に応じた。

年 度	設 置 状 況
平成16年度	非常勤職員1人が月2回土曜日に勤務
17年度	非常勤職員2人のうち1人が月2回、1人が月1回土曜日に勤務
18年度	非常勤職員2人のうち1人が月2回、1人が月1回土曜日に勤務

イ 主な相談内容と件数

(7) 日本人相談内容

(単位：件)

年 度	留 学	外 国 情 報	外 国 語	交 流	生 活	そ の 他	合 計
平成16年度	58	27	13	23	7	69	197
17年度	64	13	13	12	7	32	141
18年度	58	10	31	15	10	86	210

(イ) 外国人相談内容

(単位：件)

年 度	就 労	観 光	ビ ザ	生 活	医 療	そ の 他	合 計
平成16年度	12	3	3	8	1	11	38
17年度	8			6		7	21
18年度	9	3	2	15		25	54

2 国際協力機関等との連携

(1) 独立行政法人国際協力機構（JICA）

国際協力推進員の配置（平成8年度から）

独立行政法人国際協力機構との連携により、協会内に国際協力推進員を配置し、国際協力等に関する情報提供や相談等に応じた。

国際協力に関する情報提供、相談 (単位：件)

年 度	開発教育	NGO	その他の国際協力	合 計
平成16年度	97	30	182	309
17年度	79	8	157	244
18年度	76	18	247	341

(2) 財団法人国際協力推進協会（APIC）

「国際協力プラザコーナー」の設置（平成10年度開始）

APICから提供される国際協力に関する情報提供を行った。（パンフレット、書籍、ビデオ等）

(3) 財団法人日本ユニセフ協会

子供向け、学校向けのユニセフ視聴覚教材を揃え、貸出を行った。

ユニセフビデオの貸し出し（平成6年度開始）

平成16年度	平成17年度	平成18年度
28件	19件	23件

(4) 在外県人会の育成

ア 活動の支援（昭和62年度開始）

在外県人会が行う移住者の援護指導、消息不明者の調査、移住者の実態調査、県人子弟の育成・指導、母県との交流などの活動を支援するため、これらの業務を県人会に委託した。

委託先：ブラジル、アルゼンチン、ペルー、パラグアイ鹿児島県人会

イ 郷土情報の提供（昭和62年度開始）

在外県人会並びに県出身者に対して、グラフかごしま、県政かわら版、かごしまNOW等を定期的に送付し、郷土情報の提供を行った。



## 第4 協会体制の確立

### 1 管理運営の充実

#### (1) 国際交流プラザの運営（平成2年度開始）

「国際交流プラザ」の運営について、県の委託を受けて、県民や在住外国人等をはじめ関係団体等に幅広く利用されるよう各種のサービスの提供に努めた。

##### ア 国際交流プラザ入館者数・会議室利用件数

年 度	入 館 者 数	会議室利用件数
平成16年度	38,809名	154件
17年度	40,788名	184件
18年度	42,415名	230件

##### イ 国際交流プラザの施設

設置年月：平成2年7月（平成15年4月移転）

施設総面積：433.46㎡（移転前193.08㎡）

施設の内容：交流サロン、情報資料コーナー（図書、ビデオ）、研修施設（会議）、メッセージボード

#### (2) 旅券業務の遂行（昭和62年度開始）

県の委託を受けて、旅券の申請受付・作成・交付の業務を行った。

年 度	旅券交付件数	取 扱 事 務 所
平成16年度	32,078件	かごしま県民交流センター内パスポート窓口、 総務事務所（加世田・川内・加治木・大隅・鹿屋）、 支庁（熊毛・大島）、 事務所（屋久島・瀬戸内・喜界・徳之島、沖永良部）
17年度	28,357件	
18年度	32,945件	

### 2 組織機構の拡充強化

#### (1) 職員の確保・育成

新しい時代感覚と複雑多様化する国際交流・協力事業を円滑適切に遂行していくため、各種の研修等による職員の資質の向上に努めた。

研 修	実施期間	実施場所
旅券事務担当者実務研修	平成18年 5月19日	鹿児島市
地域国際化協会職員国内研修（管理担当者向け）	平成18年 8月31日～ 9月1日	東京都
都道府県嘱託職員他旅券実務研修	平成18年10月10日～11日	東京都
地域国際化協会職員国内研修会	平成18年12月12日～13日	東京都
地域国際化協会職員海外研修	平成19年 1月28日～ 2月4日	オーストラリア

### 3 財源基盤の確立

#### (1) 財源の確保

ア 基本財産の適切な運用と事業推進に必要な財源確保に努めた。

##### イ 先導的施策支援事業の実施（平成9年度開始）

財団法人自治体国際化協会の助成を受け、先導的施策支援事業を実施した。

年 度	事 業 名	助成金の額
平成16年度	Sounds Around The World !	1,000千円
17年度	インターナショナルキャンプ	500千円
18年度	国際子供フェスティバル	1,510千円